

注意喚起

粗悪学術誌 ハゲタカジャーナル



関東学院大学図書館 2022.6

ハゲタカジャーナルを見分けるには？



ハゲタカジャーナルとは？

著者が投稿料を支払うことで読者が無料で論文を読むことができるオープンアクセスへの取り組みが近年進められています。このビジネスモデルを悪用し、著者から論文投稿料を得ることを目的とした、適切な査読を行わない、低品質で悪質な粗悪学術誌、いわゆるハゲタカジャーナルが急増しています。



巧妙な手口

- ジャーナルのタイトルやロゴを有名出版社に酷似させている。
- 投稿勧誘メールをしつこく送り付けてくる。
- 編集責任者や編集方針が明確でない。
- 掲載料が高額だったり、不明瞭。



投稿のリスク

- 自身の業績への信頼や評価を下げることになる。
- 所属機関の社会的な評判を下げることになる。
- 高額な掲載料を請求されるなどの支払いトラブルの恐れがある。
- 論文撤回ができず、二重投稿となるため他誌へ再投稿ができない。
- 論文の長期的アクセスが保証されない。



信頼できるジャーナルを選ぶためのチェックリストを確認する

Think, Check, Submit(日本語版)

<https://thinkchecksubmit.org/journals/japanese/>



ホワイトリストを確認する

● 厳格な審査を通過したオープンアクセスジャーナルを収録しています。
Directory of Open Access Journals (DOAJ)
<https://doaj.org>

● 学術論文の出版規範委員会のメンバーか検索できます。
Committee on Publication Ethics (COPE)
<https://publicationethics.org/members>



ブラックリストを確認する

ハゲタカの疑いのある雑誌及び出版社について、Jeffrey Beall氏が“Beall’s List”として2017年まで公開していたリストです。現在はそれを引き継いだ匿名研究者が公開しています。

<https://beallslist.net/>



収録基準が明確な文献データベースへの収録を確認する

本学が契約しているScopus (スコーパス) は、Elsevier社が提供する世界最大級の抄録・引用文献データベースです。世界7,000社以上の出版社、26,000誌以上の査読誌を収録しています。

<https://www.scopus.com/>

Elsevier社が算定するCiteScoreと呼ばれる学術雑誌の影響力を示す指標の参照も可能です。

<https://www.elsevier.com/ja-jp/solutions/scopus/citescore>

これらのリストやデータベースが絶対に正しいとは言い切れません。上記を参考にしつつ、自分自身でも情報を集め、判断することが大切です。ご不明な点は図書館へご相談ください。

【参考】

京都大学図書館機構、「粗悪学術誌啓発リーフレット「粗悪学術誌に関わらないために」」。

https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/uploads/20220331_predatory_leaflet_ja.pdf , (参照 2022-06-27)

岡山大学附属図書館、「粗悪学術誌（ハゲタカジャーナル）に関する注意喚起」。

https://www.lib.okayama-u.ac.jp/support/predatory_journals.html , (参照 2022-06-27)

産業医科大学図書館、「ハゲタカジャーナルにご注意を！」。

https://www.lib.uoeh-u.ac.jp/drupal/ja/predatory_journals , (参照 2022-06-27)